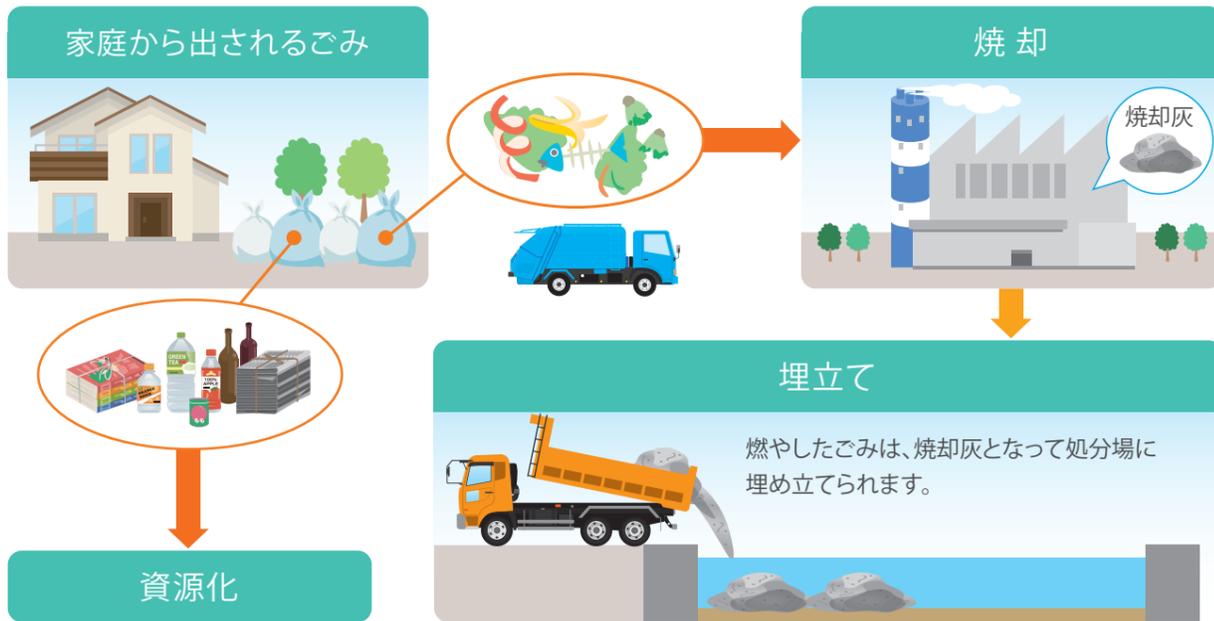


南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場の概要

廃棄物最終処分場とは・・・

私たちの家庭から排出されるごみは、燃やすものと資源化するものに分けられます。燃やすごみは、収集車によって焼却工場に運ばれ、焼却を経て、最終的に残った焼却灰が廃棄物最終処分場に埋め立てられます。南本牧第5ブロックは、横浜市で稼働する唯一の一般廃棄物最終処分場であり、私たちにとって限りある貴重な財産です。



● 廃棄物最終処分場では産業廃棄物も一部受け入れています。

概観図



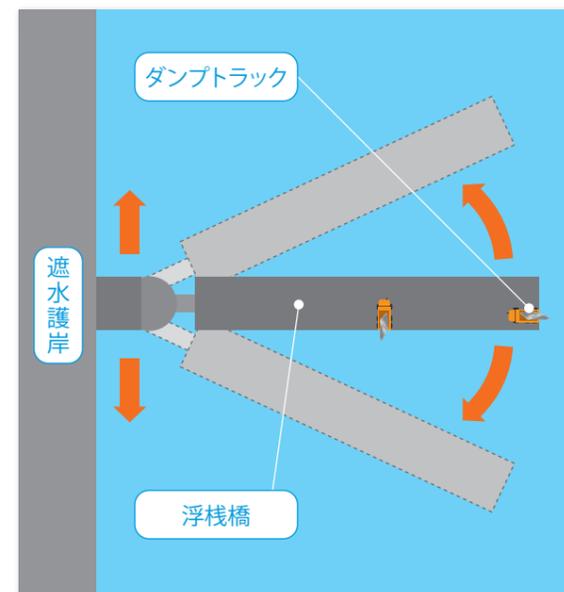
| | |
|------|--------------------|
| 所在地 | 横浜市中区南本牧4番地先 |
| 埋立面積 | 16.4ha |
| 埋立容積 | 400万m ³ |
| 水深 | 約35m |
| 埋立期間 | 平成29年10月～概ね50年 |

埋立方法について

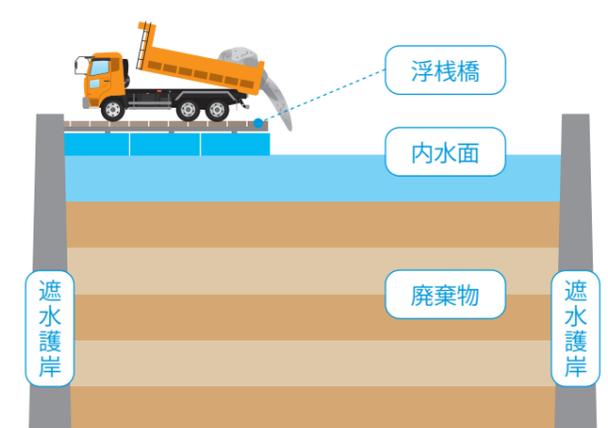
南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場は水深約35mの海面処分場です。廃棄物を埋め立てる内水面の周りには遮水護岸があり、海域の汚染を防止しています。

埋立てには浮棧橋を使い、これを定期的に移動することで一定の層状に埋め立てていき、最終的に安定した均一の地盤を造成します。

平面イメージ



断面イメージ



浮棧橋を移動することで、広範囲に薄く層を重ねるように埋立てを行っていきます。

水処理について

海面処分場内の内水(水位)は、廃棄物の埋立てや降雨によって水位が上がってしまうため、あふれ出ないように外へ排出する必要があります。その際、排水処理施設において処理・浄化し、周辺環境に影響を与えないように配慮しています。また、処分場周辺海域の環境調査を定期的実施し、その調査結果を公表しています。

